

第11回科学技術部会	資料
平成14年 9月27日	3

平成15年度 科学技術関係の概算要求

厚生労働省

平成15年度 科学技術関係の概算要求

厚生労働省

背景

資源配分の方針
分野別の動向
(総合科学技術会議)



厚生労働省の科学技術政策
(厚生科学審議会専門委員会)



医薬品産業ビジョン
(厚生労働省)

基本的考え方

- ・先端科学を活用した先端医療の実用化と医薬品・医療機器産業の国際競争力確保
- ・安全科学を活用した食品安全など、生活上の高度な安全・安心の確保
- ・予防科学を活用した疾病予防の推進と健康寿命の増進

平成15年度

概算要求

- ・科学技術関係予算 1,612億円(14年度 1,281億円、対前年度比 25.9%)
うち科学技術振興費 1,326億円(14年度 1,025億円、対前年度比 29.4%)

重点事項

① 医薬品・医療機器等 産業活性化プロジェクト

- ・疾患関連たんぱく質解析プロジェクト 40億円(0億円)
- ・身体機能解析・補助・代替のための機器開発プロジェクト 30億円(0億円)
- ・治験活性化プロジェクト 35億円(0億円)

② 健康安全にかかる 研究の充実

- ・食品の安全性確保にかかる研究の充実 56億円(12億円)
- ・医薬品等医療技術リスク評価・管理技術の高度化 20億円(6億円)
- ・化学物質リスク評価・管理技術の高度化 35億円(17億円)

③ 先端的科学技術を活用 した医療の展開

- ・最先端科学を活用したがん等の生活習慣病予防の推進 47億円(16億円)
- ・自己免疫疾患、神経疾患等をはじめとした難治性疾患(小児を含む)の克服を目指した研究の推進 63億円(21億円)

(注)カッコ内は14年度予算

平成15年度厚生労働省科学技術関係概算要求額の概要

(単位:百万円)

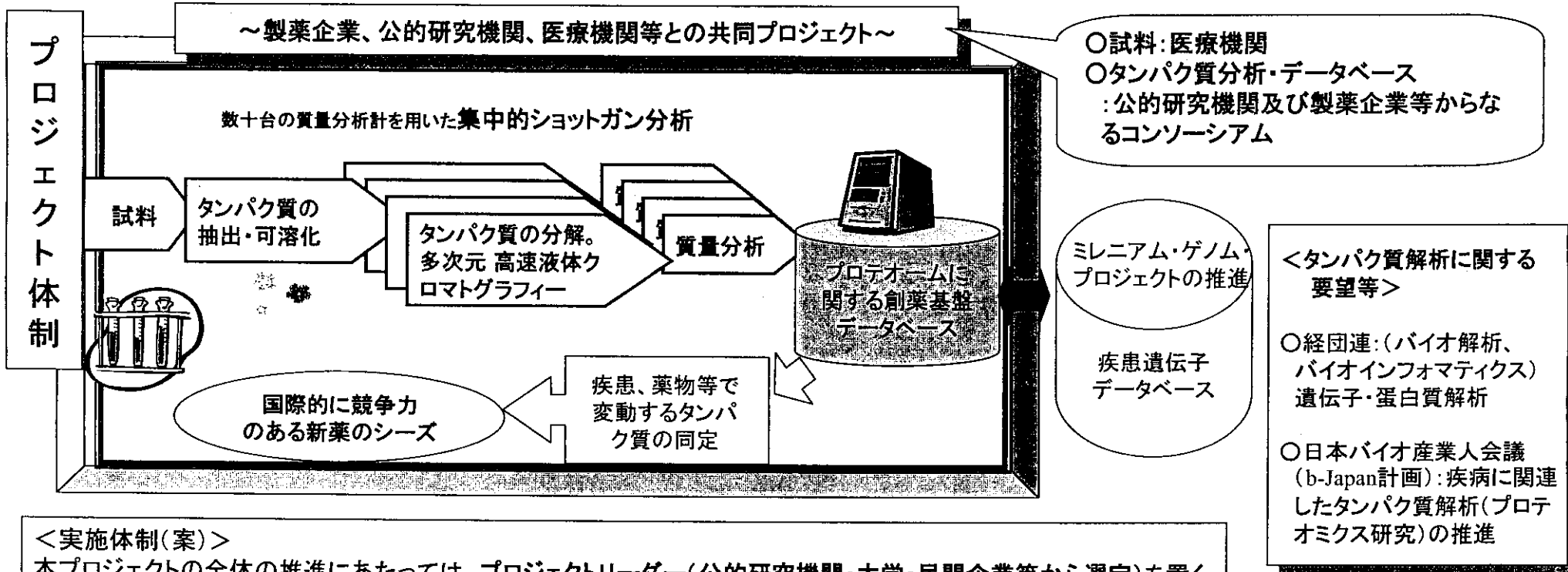
区 分	平成14年度 予算額	平成15年度 概算要求額	対前年度 差引 増△減額	対前年度 比 率	備考
科学技術振興費	102,510	132,621	30,111	129.4%	
厚生労働科学研究費補助金	40,702	67,629	26,927	166.2%	
1. 医薬品産業等経済活性化 プロジェクト研究経費	0	10,500	10,500		
(1)疾患関連たんぱく質解析 プロジェクト研究経費	0	4,000	4,000		
(2)身体機能解析・補助・代替 のための機器開発プロ ジェクト研究経費	0	3,000	3,000		
(3)治験活性化プロジェクト 研究経費	0	3,500	3,500		臨床研究データマネジメントを含む。 治験活性化施策としては、この他、生物 統計の人材養成(3,000万円)
2. 食品医薬品等リスク分析拡 充研究経費	3,456	9,350	5,894		
(1)食品安全確保研究経費	1,177	4,500	3,323		国立試験研究機関分11億円を合わせると、 食品の安全性確保で56億円
(2)医薬品等医療技術リスク 評価研究経費	600	1,350	750		国立試験研究機関分6億円を合わせると、 医薬品等医療技術で20億円
(3)化学物質リスク研究経費	1,679	3,500	1,821		
3. 最先端科学を活用したがん 等の生活習慣病予防研究 経費	1,606	4,700	3,094		
4. 難治性疾患克服研究経費	2,122	6,300	4,178		
試験研究機関	20,314	23,630	3,316	116.3%	国立試験研究機関等経費 医薬基盤技術研究施設の整備20億円
特定疾患研究費	28,029	28,029	0	100.0%	特定疾患及び小児慢性特定疾患の治療 に関する研究
保健医療分野における基礎研究 補助金等	10,084	10,084	0	100.0%	医薬品、医療用具の開発のための基礎 研究を医薬品機構が国研・大学等と共同 して行うもの
そ の 他	3,381	3,249	△ 132	96.1%	結核・放射線影響研究所、評価の推進等
そ の 他	3,140	3,007	△ 133	95.8%	
小 計	105,651	135,627	29,976	128.4%	
国立病院特会					
国立高度専門医療センター	11,187	14,242	3,055	127.3%	国立がんセンター研究所、国立成育医療 センター研究所、国立長寿医療センター 研究所等経費
がん研究助成金等	4,190	4,330	140	103.3%	がんの治療等に関する研究
国立病院治療研究費等	1,736	1,599	△ 137	92.1%	国立病院・療養所における治療研究
小 計	17,113	20,171	3,058	117.9%	
産投特会					
医薬品等の研究開発に対する 出融資金 (産業投資特別会計)	1,700	1,500	△ 200	88.2%	医薬品、医療用具等の開発に関する研 究の促進のため、バイオベンチャー等、 民間企業に対する出資・融資による支援 を行うもの
労保特会					
(労働保険特別会計)	3,589	3,920	331	109.2%	独立行政法人産業安全研究所、独立行 政法人産業医学総合研究所に必要な経 費等
合 計	128,052	161,218	33,166	125.9%	

(1) 疾患関連たんぱく質解析プロジェクト

研究内容

- 医薬品開発のシーズとなる疾患関連タンパク質の発見、知的財産権の確保は、今後の医薬品産業の発展に不可欠。これまでは、タンパク質の基本構造や機能を解析する「タンパク質からのアプローチ」(タンパク3000プロジェクト等)を実施。このような取組みに加え、患者と健常者の間のタンパク質の種類・量の違いを同定する「疾患からのアプローチ」により、医薬品開発のシーズとなる疾患関連タンパク質の発見等を加速化することが必要。
- 10万種にのぼるタンパク質、特に解析の困難であった大きなタンパク質の同定が、質量分析計等の自動化や、タンパク質を分解して解析しコンピューター上で結びつける「ショットガン法」の開発等により、疾患からのアプローチが可能になりつつある。
- スイス、ドイツでは、疾患からのアプローチに国家プロジェクトとして既にその取組みに着手。
- 我が国としても、3500万人の「高血圧」、1300万人の「糖尿病」、死因の1/3を占める「がん」、「痴呆」等を対象として、疾患関連タンパク質を同定するプロジェクトの開始が不可欠。

目標：5年程度で、将来（2010年頃）の医薬品産業の躍進の原動力となる新薬のシーズを発見。



<実施体制(案)>

本プロジェクトの全体の推進にあたっては、プロジェクトリーダー(公的研究機関・大学・民間企業等から選定)を置く。また、プロジェクトに参画する民間企業を公募する。